

2018年度（第21期）  
事業報告書

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

公益財団法人上原美術館

## 目 次

1. 概況	1
2. 上原美術館の運営管理（定款第5条第1号）	1
3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）	2
4. 美術品の収集、整理及び保管（定款第5条第3号）	3
5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催 （定款第5条第4号）	4
6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開	7
7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布	7
8. その他目的を達成するために必要な事業	8

# 2018年度事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

## 1. 概況

2018年度も、従来通り、公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本に運営を行った。

2017年11月3日のリニューアルを機に、上原仏教美術館と上原近代美術館が一体となり、上原美術館(仏教館・近代館)として活動を開始したが、その後の入館者数は当初の計画通り順調に推移している。

本年度は静岡県立美術館との共同企画展を開催、関連企画としての教育普及イベントも多数共同開催した。また、リニューアル1周年記念の特別展として、上原仏教美術館の開館以来、継続調査して発見された伊豆の平安仏を紹介する『伊豆の平安仏—半島に花ひらいた仏教文化—』を開催、県内外より多数の来館者が訪れた。

今年度も1年を通じ、事業計画に基づいた運営管理、展示公開、調査研究、講演会・研修会開催等を行った。

## 2. 上原美術館の運営管理（定款第5条第1号）

### — 2018年度美術館入館者及び収入実績

昨年度のリニューアル・オープン以降、仏教館・近代館共通で、大人1,000円、学生500円、高校生以下は無料とし料金体系の見直しを行った。

上原美術館（仏教館・近代館）				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
16,661名	1,294万円	145万円	1,439万円	346日（*1）

（\*1）展示替え及び館内修繕工事を含め、19日間休館

### <入館者数内訳>

* 大人	15,884名
* 学生（大学・専門）	129名
* 高校生以下	648名

### 3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）

#### (1) 企画展

【仏教館・近代館共通】リニューアル記念 上原コレクション名品選 —印象派の絵画から平安の仏像、写経まで—	
開催期間	2017年11月3日(金)～2018年4月8日(日) [157日間] 出展作品数 51点 入館者数 9,617名
内 容	新収蔵の仏像を含む上原美術館所蔵の名品を紹介。
【仏教館・近代館共通】リニューアル記念Ⅱ 美を旅する —静岡県立美術館のコレクションとともに—	
開催期間	2018年4月14日(土)～5月20日(日) [37日間] 出展作品数 49点 入館者数 2,298名
内 容	伊豆の平安仏から富士の屏風、モネ、ピサロ、ゴーギャンなどの近代絵画まで、上原美術館と静岡県立美術館の名品を旅するように紹介。
【仏教館】すがた うるわし—仏像と近代絵画の出あい— 【近代館】風のささやき、水のゆらめき—絵に描かれた美しき風景—	
開催期間	2018年5月26日(土)～9月17日(月) [115日間] 出展作品数 54点 入館者数 4,014名
内 容	【仏教館】洋の東西を問わず、共通するやわらかな表現やうるわしい姿を、仏像や絵画のジャンルを越えて紹介。 【近代館】耳を澄ませば聞こえてくる風や水の音。収蔵品を中心に画家たちが描き出したそれらの表現を楽しむ。
【仏教館】リニューアル1周年記念 伊豆の平安仏 —半島に花ひらいた仏教文化— 【近代館】須田国太郎—上原コレクションから—	
開催期間	2018年9月22日(土)～12月9日(日) [79日間] 出展作品数 71点 入館者数 5,701名
内 容	【仏教館】寺外初公開の千手観音をはじめ、60年に1度本開帳の秘仏など、伊豆半島に伝わる平安時代の仏像を展示。 【近代館】当館コレクションの特徴である須田国太郎の絵画を墨色(黒)に着目して紹介。

【仏教館】下田の古刹—太梅寺の寺宝 【近代館】春をおもう—東洋と西洋、それぞれの春—	
開催期間	2018年12月15日(土)～2019年3月31日(日) [107日間] 出展作品数 67点 入館者数 4,229名
内容	【仏教館】伊豆南部曹洞宗の古刹である太梅寺に眠る伊豆最古の禅語録や中世文書、南北朝時代の仏像など非公開の寺宝を紹介。 【近代館】上原コレクションから日本と西洋に描かれた春の表現を紹介。

(2) 教室生徒の作品展 (※入場無料)

教室名	開催期間[開催日数]
写経・仏像彫刻教室	2019年3月1日～3月5日[5日間] 出展作品数 58点 入館者数 126名
デッサン・水彩画教室	2019年3月14日～3月19日 [6日間] 出展作品数 20点 入館者数 159名
日本画教室	2019年3月22日～3月27日 [6日間] 出展作品数 21点 入館者数 163名

4. 美術品の収集、整理及び保管 (定款第5条第3号)

(1) 美術品の収集

本年度は、以下の6作品を購入した。

購入作品	
作者名	作品名
白隠	達磨図
不詳	薬師如来坐像／平安時代
鏘木清方	十一月の雨
鏘木清方	築地川
アルベール・マルケ	ルーアンのセーヌ川
牛島憲之	夕月富士

(2) 美術品の整理及び保管

上原美術館では、引き続き温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集分析等、館内の環境調査を実施し美術品保存環境の維持に努めた。

また、IPM(総合的病害虫管理)の考え方に基づいた文化財害虫やカビの予防管理も行った。

## 5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

### (1) 調査研究

以下の文化財調査(外部依頼調査)を実施した。

- ①松崎町岩科区・虚空蔵堂調査(5月31日)
- ②河津町見高・真乗寺調査(6月4日)
- ③三島市・誓縁寺調査(6月11日)
- ④松崎町岩科・松尾不動堂調査(6月28日)
- ⑤三島市塚原新田・普門庵調査(7月6日)
- ⑥河津町浜・称念寺、長福寺調査(10月29日)
- ⑦河津町沢田・林際寺調査(11月26日)
- ⑧河津町川津筏場・三養院調査(12月6日)
- ⑨河津町梨本・慈眼院調査(2019年1月22日)
- ⑩河津町天川・常光院、同町川津筏場・延命寺、同町大鍋・長慶院調査(2019年2月22日)

### (2) 研修会の開催

本年度も以下の5教室を開催した。

仏像彫刻教室		
講師〔仏像彫刻家〕	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	36名	毎月1回(年12回実施) 第3日曜日
写経教室		
講師〔書家〕	受講者	開催日時
山田 修也氏	24名	毎月1回(年12回実施) 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員	21名	毎月1回(年12回実施) 第2日曜日

デッサン・水彩画教室		
講師[現代美術作家]	受講者	開催日時
小野 憲一氏	17名	毎月2回（年24回実施） 第2・4水曜日
日本画教室		
講師[日本画家]	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	20名	毎月2回（年24回実施） 第2・4火曜日

### (3) 講演会の開催

静岡県立美術館との共同企画展に合わせて、静岡県立美術館の館長と当館の主任学芸員2名による講演・座談会を実施し、時代やジャンルを越えた美について対談した。

開催日 4月30日（月・祝）  
 会場 下田市民文化会館 小ホール  
 演題 「伊豆をめぐる。美術館をたのしむ」  
 講師 静岡県立美術館館長 木下直之氏、  
 上原美術館主任学芸員 田島整、土森智典  
 聴講者 約100名

### (4) レクチャー、ギャラリートーク開催（会場：上原美術館）

#### ①レクチャー

計3回開催 講師：当館学芸員 参加者計108名

#### ②ギャラリートーク

計13回開催 講師：当館学芸員 参加者計232名

(5) ワークショップ開催（講師：当館学芸員、当館絵画教室講師）

テーマ	開催日	参加人数
仏像デッサン会 (静岡県立美術館共同企画)	4月22日 5月11日	26名
みんなで大きな黒い船を描こう！ (静岡県立美術館共同企画)	5月4日	16名
ねんど開放日 (静岡県立美術館共同企画)	5月5日 5月19日	172名
ちょこっと版画体験 (静岡県立美術館共同企画)	5月6日	32名
えのぐ開放日(静岡県立美術館共同企画)	5月20日	79名
はじめての日本画体験 (静岡県立美術館共同企画)	8月4日	10名
はじめての日本画(伊豆の国市共同企画)	8月7日	17名
なつやすみ デッサン・ワークショップ 2017	8月15日～18日	6名
親子でたのしむ鑑賞ゲーム	8月25日	5名
親子でたのしむアートトーク	2019年1月13日 2月10日 3月10日	21名
おとなの日本画体験	1月19日	16名
おとなのデッサン・ワークショップ	1月25日～26日	10名
親子で色遊びー透明水彩で	2月9日	18名

(6) 外部からの依頼による講演会開催（講師：当館学芸員）

講演名	開催日	聴講者
下田市寿大学で講演	5月16日	約100名
東京都港区・大松寺で講演	5月27日	約70名
御殿場市・みくりや文化の会で講演	6月30日	120名
曹洞宗静岡第二宗務所で講演	10月1日	約30名
静岡県博物館協会講習会で講演	10月17日	約25名



下田市・下田市史講座で講演	10月21日	約50名
伊豆中央倫理法人会で講演	10月27日	約70名
東京都港区・大松寺で講演	10月28日	約70名
東伊豆町・生涯学習講座で講演	11月8日	約20名
河津町・バガテル公園で講演	11月17日	約50名
伊東市・伊東市史講座で講演	11月18日	約60名
三島市・常林寺で講演	11月23日	約30名
河津町仏教会で講演	2019年1月14日	13名
JRおとなの休日倶楽部で講演	2月20日	20名
下田市・ワイズメンズクラブで講演	3月19日	10名
沼津市・光明寺で講演	3月21日	約50名

#### 6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開（定款第5条第5号）

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等、また仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

- ・本年度の収集図書数 746冊（仏教422冊、近代324冊）

#### 7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布（定款第5条第6号）

	内容
年間展示予定	2018年度の上原美術館展示案内を作成。 1年間を通して開催する展覧会と当館の紹介を行った。
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布。
美術館だより	年4回発行。 (1回約4,000部を無料頒布)
その他	展覧会ごとに出品リストを作成し、来館者へ無料頒布。 仏教館の仏像ギャラリー用の解説を来館者へ無料頒布。

## 8. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第7号）

地域の教育文化の向上を目的として、今年度も高校生以下は年間を通して入館料を無料とした。静岡県内全児童を対象とした事業「キッズアートプロジェクトしずおか」にも協力を行った。

また、幼児、小中学生、高校生を対象とした出張授業や授業入館、教員の外部研修受け入れも継続して実施した。

その他にも、静岡県博物館協会事業推進グループのほか、文化財保護審議会委員、伊豆半島ジオパーク推進協議会学術部会委員を学芸員が務め、地域文化向上に寄与している。

### （1）学校教育との連携

今年度も以下の学校教育との連携をはかった。出張授業は、伊豆地域のこども園、小・中学校、高校のほか、昨年度に引き続き富士見中学校（東京）など遠方からの依頼もあった。

・パスポート入館者		142名
・出張授業 9校（11回）	合計	519名
・授業入館 4校（5回）1園、1団体	合計	142名
・教員研修 1名		

### （2）その他

近代館は、土森智典主任学芸員が昨年度に引き続き、静岡県博物館協会の事業推進グループに参加し、静岡県内の美術館・博物館等の連携構築、講習会の開催や災害時の加盟館・園の協力体制の検討などを行った。

仏教館は、引き続き、田島整主任学芸員が下田市・伊東市・河津町・南伊豆町・富士市の文化財保護審議会委員として各市町の文化財指定や文化財保護に関わった。また河津町史編纂委員会の副委員長を務め、河津町史編纂事業に携わった。ユネスコ世界ジオパークに認定された伊豆半島ジオパークの推進協議会学術部会委員も引き続き務めた。

以上